

金華山国有林におけるボランティア活動について

金華山国有林保護管理協議会 事務局長 ○ 川瀬 健一
岐阜森林管理署 岐阜森林事務所 森林官 小坂 隆昭

要 旨

金華山国有林は、都市近郊林として全域が「森林と人との共生林」として区分され、その大半が森林空間利用タイプの森林として位置づけられています。

この森で長年にわたり登山道の整備等を行っている市民ボランティアが、今年度「森林レクリエーション地域美化活動コンクール」等で表彰を受けるなど、地道な活動を続けてきた取り組みについて報告します。

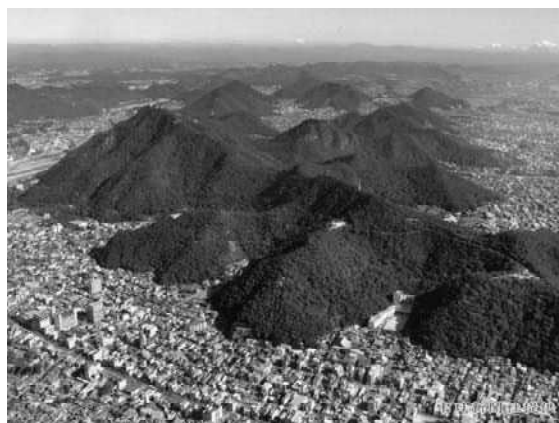
はじめに

私たちがボランティアとして金華山の整備に取り組むようになったのは①金華山からの恩恵を受けているものが「金華山に何かお返しをしたい」という思いからや、②市民が集まった街づくりに関心のあるサロンでの議論で、「金華山を何とかしなくては・・・」という話しが発端となり、小さな事でもまず自分たちでやれるものからやってみようという素朴な考えから始まりました。

1 金華山の姿

金華山は、岐阜市の中央部にあり、面積約600㍍のうち198㍍が林野庁所管の国有林となっています。

国有林内には、アラカシ、ツブラジイを主とした照葉樹林の「極相林」が見られるほか、北側では天然ヒノキも見られ、700種以上の植物と80種類以上の野鳥が生息する自然環境に優れた森林であり、岐阜市民にとっては、昔から親しまれた憩いやふれあいの場であるとともに、標高338mの山頂には



岐阜市街と金華山

戦国時代の斎藤道三や織田信長が居城した岐阜城（昭和31年再建）もあり、歴史のある岐阜のシンボリック「山」となっています。



金華山山頂の岐阜城

また、ドライブウェイやロープウェイ等も整備されており四季を通じて、市民や観光客など幅広く利用され、平成14年には82万人、現在では100万人とも言われる利用者で賑わう山です。

岐阜森林管理署でも開かれた国有林として10本の登山道コースを公開しており、うち6本が山頂に向かっています。また、10本の登山コースのうち半分は岐阜市が管理しています。

2 市民ボランティアの活動

このような背景のなかで、金華山国有林の特殊性を考え、自然環境の保護保全と安全快適な利用をはかる目的で生まれたのが、「金華山国有林保護管理協議会」であり、昭和49年の発足以来その活動は35年間も続いています。会長は岐阜市長で事務局は市観光コンベンション室が担当しています。近年では、市民の声を代弁する形でボランティアの代表も協議会に参画しています。

今回は、岐阜森林管理署との関わりの深い十時会と金華山サポーターズの2団体について活動内容を報告します。

(1) 十時会の活動

十時会は、金華山をこよなく愛好する人で結成されている会で、午前10時に頂上に登ってくる人たちが集まり、平成11年にスタート、岐阜森林管理署の森林ボランティア活動団体第1号にも登録されています。

同年12月に鼻高コースの岩にかかっている梯子が腐ってきて危険なため、現場で梯子を作って取り替えたのが最初の活動です。

このように十時会では、安全快適な利用をモットーに金華山の南側ハイキングコースの整備を長年続けています。

ア. 金華山では、利用者の増加に伴い登山道の荒廃が目立ってきています。コースによっては、雨のたびに路面が洗われ岩盤が露出したり、木の根がむき出しになったりと危険な箇所ができます。このような箇所に丸太で土留めを行い、路面の土砂の流出を防いでいます。また、土のうを造って並べるなど、会員の創意と工夫によりコースの整備が続けられています。



ハイキングコースの修理

利用者に啓蒙を図っているところですがゴミの問題はなくなりません。毎週月曜日にはゴミ拾いの清掃美化活動が続けてきました。おかげさまで最近ではゴミの量も少しずつ減ってきています。

ウ. 七曲り（大手道）コースの階段はコンクリート舗装された箇所もあり、落葉のシーズンになると落葉で埋め尽くされ、雨の後はよく滑るため危ないということから、毎日のように箒で清掃しています。



十時会のメンバー

イ. ハイキングコースは総延長約12キロにもなります。利用者のマナーの問題もあると思いますが、標識設置等で



ゴミ拾い清掃美化活動

また、このコースは、観光客等一般の利用者が多いことから軽装での利用が多く、清掃後は「歩きやすい」と感謝されています。このようにコースによって活動内容を工夫しています。

エ. 登山コース周辺では病害虫による枯れ木・枯れ枝等が発生し、森林管理署でも枯損木伐倒を実施していますが、パトロール中に発見する落下の危険がある枯れ枝等についてはその都度除去作業を



職場体験の作業指導

箇所まで運搬して使っています。

参加した生徒さんからは、「大変な仕事で、ボランティアの皆さんの苦勞がよくわかりました」と感想を頂くこともあります。

(2) 金華山サポーターズの活動

金華山サポーターズは、平成15年8月に金華山市民フォーラム実行委員会が「金華山フォーラム」を開催し、その中で「フォーラム宣言」をしたのがきっかけで、同年11月1日に誕生しました。

活動のウエイトは、平成15年から始まった岐阜市の企画する、「金華山ルネッサンス事業」に対する協働作業が大きく、登山道修理で、規模の大きなものは市で実施しますが、路肩や階段の補修など市民参加の作業が柱となる小規模なものは道具や資材の提供を受け、実働する形で成果をあげています。



金華山サポーターズのメンバー



水槽への補給活動

ア. 金華山では、平成16年5月に山頂近くで火災が発生しました。これを受け、ハイキングコースに45ヶ所の防火用水槽を設置していますが、2年前にいたずらにより水槽に穴をあけられてしまいました。山林火災の初期消火用水として重要な役割を果たすほか、救急活動の際の位置を確認する目印ともなっており、水槽への補給活動や巡視は大事な活動の一つとなっています。

イ. ハイキングコースでは、利用者へのお願いとマナーの啓発を図る「金華山を楽しむ皆様へ」としたマナー看板を設置しています。この看板は文字の彫刻から墨入れ



マナー看板設置

・搬入設置まで会員の手で行い10コースに7ヶ所設置しています。

このほか、標識の設置や森林パトロールも行っています。

ウ. 小・中学生に対する自然環境教育では、学校へ出前授業に出掛けたり、市の学習センター施設

することとしています。

また、登山道の修理や丸太橋の作設・梯子のかけかえ作業に使用する材料については、これら危険木として除去したものを活用しています。

オ. 中学生や高校生の総合学習・職場体験の作業指導では、自分たちが住む街の象徴「金華山」に少しでも興味をもって欲しい思いから、登山コースの補修作業を手伝っていただくこともあります。また、金華山では補修材料を外部から持ち込みしないという考えから、歩道等の修理にも、崩れてきた土砂等を利用し、土のうに詰め、修理する

を利用して、金華山で生息する野鳥の探鳥会や自然観察会のお手伝いに参画しています。

出前授業では、金華山について勉強し、自分たちで調べた疑問点、例えば、天然ヒノキが何故枯れたのかなど、鋭い質問を受けました。また、自然観察会では現場を終わってから、学習センターにもどり、子供さんに、金華山のどんぐりで、コマをつくり、回しくらべの遊びを指導するなど自然に興味をもっていただくよう工夫をしています。

エ. 発足当時の会員は、家族会員ふくめ約100人でしたが、高齢化等により毎年減少傾向にあり、実働の形で参加してきた会員も体力の衰えとともに参加者が少なくなってきました。



ボランティア支援活動

しかし、金華山の整備には要望の声も大きくなっており、特に鳥獣保護区特別地区の金華山ではここ数年、猪による登山道の路肩の掘り返し等の被害に悩まされています。十時会でも骨を折ってその対応をしています。金華山サポーターズでは、愛知大学ゼミの学生（男女）18人が参加する（2泊3日）ボランティア活動や、東京海上日動火災保険岐阜支店の社員や家族参加のボランティア支援活動で、現地指導や技術指導と言う

形で協力し、丸太や杭を担いで登山道を登り、杭打ちなど慣れない作業や土の運びなどを体験していただき、歩道修理や標識設置の作業を実施しています。若い方が多かったせいか出来映えもよく登山者の方から、良い評価を頂きました。

（3）ボランティア活動の評価

このように地道に続けてきた、市民ボランティア活動の取り組みに対して、本年度、十時会が（社）全国森林レクリエーション協会が主催する第19回森林レクリエーション地域美化活動コンクールにおいて林野庁長官賞を受賞するとともに、金華山サポーターズが「美しいひだ・みのの景観づくり」の岐阜県知事賞を受賞するなど、これまで多くの評価をいただきましたことは、大変光栄に思っているところです。



市長への表敬訪問記事

3 金華山の抱える問題点と今後

ボランティアとして活動して行く上で、多くの問題もあります。

（1）金華山は、法規制の厳しい山で、観光と保全を両立させなければならない山です、また、管理の形態も複雑です。このような中、天然ヒノキの立ち枯れ問題。カシノナガキクイムシの発生。ゴミの不法投棄問題。登山者のマナーの問題。危険防止、防火対策等問題の種はつきません

これまでの活動の取組として、歩道の整備、ゴミ拾いなどの清掃活動、歩道周辺の枯損木の除去など実行してきましたが、登山者の増加による道の荒廃や、マナーの低下など問題が多くあります。

また、発足当時は、比較的参加者も多く保全活動も活発でしたが、力仕事が多いこと、また高齢化によって、会員は、減少傾向にあり、会としても悩みを抱えています。

今後は、企業参加型や体験学習の取組によりボランティア団体の枠を拡げた活動が可能と考えています。

(2) これまで、小・中学生に対する自然環境教育では出前授業、職場体験、自然観察会などのお手伝いなどに取り組んできましたが、今後は、岐阜市が進めている「環境教育学習プログラム検討ワークショップ」への参画や、学習プログラムの実践を通じ、小・中学生が参加しやすい「環境を考えた土壌づくり」を関係機関に協力しながら本格的に取り組んでいくことが必要と考えています。



長良西小学校へ出前授業

(3) 金華山の環境整備については、これまでも協議会等でボランティアの立場から、ゴミの不法投



ボランティア意見交換会

棄を防止するためのドライブウェイの時間規制の強化や、各種・案内板や歩道の侵入防止ロープの整備などは岐阜市や岐阜森林管理署等の行政に要望を行って実現したところですが、荒廃が著しい歩道の規制や案内板のサインの統一化を進めるとともに、19年度に終了する「市の金華山ルネッサンス事業」に変わるものを要請するなど、今後も、金華山の環境を良くするとともに、整備の取り組みが継続されるよう岐阜市など関係機関への働きかけを行い市民の声を反映させていくことが必要と考えています。

また、関係行政機関からは協働作業が求められていることから、引き続き努力していくことも必要と考えています。

おわりに

金華山・長良川・鶺鴒は3点セットで岐阜市を代表する観光拠点でもあります。

金華山は動きません。人は変われども、次の世代にひきつぐ事が大切です。色々の問題を抱えつつも前向きに進めたいと考えております。



※ 中日新聞社、岐阜新聞社の各社より写真、新聞記事の掲載について許諾済み。